

漁況予報 いわし

第120号

2003年 11~12 月漁期
(2003年 11月 7日発行)

＝ 概況 ＝

【まいわし】

主要定置網における9月のマイワシ総漁獲量は4トンで、前年同期(26トン)の15%に留まりました。昨年の9月は中旬以降、三浦半島付近に大羽マイワシが来遊したため、三浦～鎌倉地区でややまとまった漁獲がありましたが、今年はそういうこともなく低調に推移しました。10月に入っても低調な傾向は続き、16・17日に鎌倉地区で計3トンの漁獲があった以外は目立った漁獲はありませんでした。

中型まき網による漁獲は、9、10月を通してありませんでした。

漁獲物は、相変わらず中羽マイワシ(1歳魚：2002年級群)が主体ですが、日によっては大羽マイワシも若干混じりました。

なお、10月31日には福島県沖で久しぶりに大中型まき網により330トンの漁獲があり、石巻、小名浜、銚子等に分散して水揚げされました。魚体は中羽主体に大羽が2～3割混じったそうです。

【かたくちいわし】

主要定置網における9月のカタクチイワシ総水揚げ量は、400トンで昨年同期(22トン)を大きく上回る好漁となりました。このうち、300トンは鎌倉地区での水揚げでした。11cm台の魚が主体ですが、相変わらず12cm以上の大型成魚の来遊も多い傾向にありました。10月に入っても、上旬は鎌倉地区で引き続き好漁となりましたが、中旬からは群れが代わりジゴ(春生まれの当歳魚)主体となり漁獲量は伸びなくなりました。

佐島地区のまき網も、マイワシの来遊がなかったことから、2ヶ月を通してカタクチイワシに漁獲努力が向けられましたが、散発的な漁模様に終始しました。

【しらす】

相模湾のシラス漁は、9月に入り平塚を中心とした奥部で200～300kg/統/日で暫く推移しましたが、東部では6日まで殆ど漁のない日が続きました。6日の日中、東向きの流れが湾内で継続したことで、三浦半島側でシラスが集積した模様で、7日は東部でも同100kgの漁獲水準となりました。そして、8日の夕方から断続的に1ノットを超える流れが湾外から湾内全域に流入したことで新たなシラスの加入があり、9日から東部で15日まで、奥部で20日まで同200～500kgの漁獲水準が継続しました。しかし、21～22日にかけて台風15号が八丈島沖を通過してからは、一転して不漁傾向となり、東部では10月上旬まで同0～50kgの漁獲水準で推移しました。その後、奥部では16日から、東部では23日から再び好漁となり同200～450kgの漁獲水準が月末まで継続しました。

結局、この2ヶ月の漁獲量は、前年同期を上回る結果となりました。

＝ 予報 ＝

まいわし

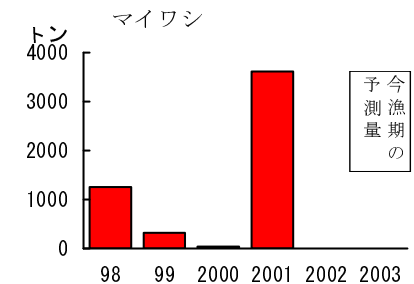
今漁期は、中羽イワシ(2002年級群)が漁獲の主体となり、これに当歳魚が混じるでしょう。

定置網主体に散発的に入網するものと思われます

今漁期の漁獲量は、約1トンと予測されます。

*縦軸：主要定置網+まき網

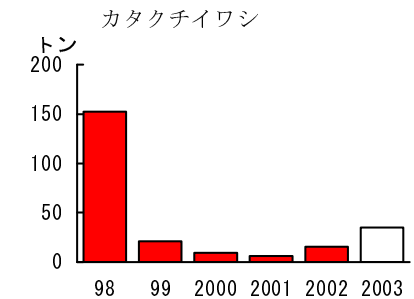
過去5年の11・12月漁期の漁獲量
と今漁期の予測量



かたくちいわし

今漁期は、小型成魚及び春生まれの未成魚が漁獲の主体となります。

今漁期の漁獲量は、約35トンと予測されます。



しらす

今漁期は、9～10月生まれのカタクチシラスが漁獲の主体となります。

湾内で生まれた個体に期待はできませんが、前漁期同様、沖合海域からの加入に期待したいところです。

今漁期の漁獲量は、約70トンと予測されます。

